

## 7月

## 新着図書

## 最後の皇帝と謎解きを

著者名:犬丸 幸平  
出版者:宝島社

一九二〇年、中国。北京在住で日本人絵師の一条剛は、紫禁城に住む廃帝・溥儀に水墨画の師として雇われた。しかし溥儀には、城に眠る水墨画を贋作にすり替えて真作を秘密裏に売却し、清朝復興のための資金を調達する目的があったのだった。使用人の宦官のひとりが密室で不審死を遂げた事件を皮切りに、龍の絵に何者かの手で描き加えられていた眼、ある時を境に感情をなくした宦官など、一条はさまざまな謎を少年廃帝とともに解き明かすことになる。立場を超え、ふたりの間には徐々に友情が芽生えていくが…。2026年第24回『このミステリーがすごい!』大賞大賞受賞作。

## しっぽのカルテ

著者名:村山 由佳  
出版者:集英社

生きとし生ける、すべての命へ。愛しさあふれる感涙の動物病院ストーリー! 信州の美しい木立のなかに佇む「エルザ動物クリニック」。凄腕だけれどポンコツな院長と働き者のスタッフが集うこの病院では、動物も人も、ゆっくり息を吹き返す。

## 歴史を知れば鎌倉めぐりはもっとたのしい鎌倉の古社寺

著者名:0  
出版者:淡交社

〈歴史を知って歩くほど、古都の景色は変わって見える。〉  
〈大きな判型、創建年代順の構成で見やすくわかりやすい〉  
大きな写真を収録した見やすい判型で、実用に役立つ社寺ガイドとして好評を博したムック『鎌倉の古社寺』の新装改訂版。鎌倉周辺の名刹・古社約40件を最新情報に更新のうえ収録。創建年代順の構成、「予習(由緒)」と「実習(拝観のみどころ)」とを分けた本文など、情緒溢れる古社寺の歴史と見どころをくまなく紹介します。モデルコース紹介など巻末付録も充実。初めての人にはやさしく見どころを伝え、何度も訪れている人にも新たな視点を伝える、鎌倉社寺の歴史案内の決定版です。

## 青天

著者名:若林 正恭  
出版者:文藝春秋

オードリー・若林正恭、初小説! 人にぶつかっていないと、自分が生きているかどうかよくわからなくなる――総大三高の「アリ」こと中村昂が所属するアメフト部は、万年2回戦どまり。相手校の練習を隠し撮りして迎えた高3の引退大会では、強豪・遼西学園に打ち破れた。引退後、みなが受験に向かうなか、勉強にも気持ちが入らず、不良になる覚悟もないまま宙ぶらりんの日々を過ごす。自分自身の不甲斐なさにもがき続けるなかで、アリは再びアメフトと向き合う決意を固める。

## ネタバレあり 双紋島の殺人

著者名:下村 敦史  
出版者:光文社

「島での最初の犠牲者は名探偵」「登場人物の一人は偽名」「島では四人が殺される」「共犯者がいる」など、巻頭に書かれた7つのネタバレ。嵐に閉ざされた孤島で起こる連続殺人を描いた作中作「双紋島の殺人」は、現実起きた事件をもとにしたノンフィクションノベルだった。事件に巻き込まれたミステリー作家は、真相解明を読者に求め小説として刊行するが……。ミステリーの常識が崩壊する、前代未聞の“読者への挑戦状”。

## 絶景低山コースガイド関東周辺

著者名:0  
出版者:山と溪谷社

これから山登りを始めたい人にも最適な初心者向きの山からベテラン向きの山まで、日帰りで行ける名低山62コース。富士山に見える山(大岳山 高尾山~景信山 鉄砲木ノ頭 ほか)  
パノラマ展望の山(筑波山 宝篋山 男体山 ほか)  
海を望む山(日立アルプス 八丈富士 天上山 ほか)  
美景・奇景の山(中倉山~沢入山 相馬岳 立岩 ほか)

7月

## 新着図書

## 棺桶まで歩こう

著者名: 萬田 緑平  
 出版者: 幻冬舎

長生きしたくないという高齢者が増えている。不健康寿命が延び、ムダな延命治療によるつらく苦しい最期は恐ろしいと感じるからだ。著者は2000人以上を看取った元外科医の緩和ケア医。「延命より満足を、治療より尊厳を」という選択を提唱。医療との向き合い方を変えることで、家で人生を終えるという幸せが味わえるようになる！

## パンどろぼう

著者名: 柴田 ケイコ  
 出版者: KADOKAWA

まちのパンやから サササッととびだす ひとつのかけ。パンがパンをかついで にげていきます。「おれはパンどろぼう。おいしいパンをさがしもとめる おおどろぼうさ」——パンに包まれた、その正体とは！？

## パンどろぼうとなぞのフランスパン

著者名: 柴田 ケイコ  
 出版者: KADOKAWA

パンどろぼう、それは世界中のパンを探しもとめる大どろぼう。パン屋のおじさんにさとされて、りっぱなパン職人になりました。森のパン屋にしるのびよる、なが〜い影が……？パンどろぼう最大のピンチ到来！？

## パンどろぼうvsにせパンどろぼう

著者名: 柴田 ケイコ  
 出版者: KADOKAWA

にせパンどろぼう、あらわる！！せかいいちおいしいもりのパンやに、またしてもじけんのよかんが…？

## 国宝 5

著者名: 吉田修一、三国史明  
 出版者: 小学館

袂を分かち宿命か、共に舞う運命か。出奔して家に迷惑をかけた負い目からか、芸を磨くことに余念がない俊介。丹波屋を離れた喜久雄は踊れる舞台がなくなり、下げたくもない頭を下げて舞台を探す毎日を送る。二人の覚悟と執念が歌舞伎界に新しい風を吹き込んでいく！

## 彼の左手は蛇

著者名: 中村 文則  
 出版者: 河出書房新社

3ヶ月前、「男」は仕事辞め、女性と別れ、世界中から失われた蛇信仰のあるこの地へ来た——平家が落ち延びたといわれるこの土地に。そして「この文章」を書いている。誰も読まない「この手記」を。自分が人ではないと思っていた幼少時代の奇妙な記憶、有志によるQ山の毒蛇狩り、白蛇を祀る神社とその宮司、蛇を求める女、ある議員の死とそれを調べるQ署の刑事、ロー・Kというビジネスマン、そして……Apep。いま男は、ある目的のために“1人”で動き出す。